開発の機会を持っています。当初は5ヵ年計画で行いますが、更に追加の技術開発予算もたてられており、バニヤンズとしての航空宇宙関連技術開発事業への取り組みを進めてまいります。これらの受注による当社グループの今期業績予想に対する影響は、現時点では軽微であります。今後開示すべき事項が発生しましたら、改めてお知らせいたします。

バニヤンズは、同社の主たるサービスであるコンサルティング事業においては、クライアントの事業企画段階から参画し、IoT、AI、Web 開発技術等の最新技術を持って事業を拡大してきました。国内大手製パン事業者が展開するDXによる業務効率化の支援、政令指定都市市役所からは、ローコードツールによる業務改革事業を継続して受注しております。航空宇宙分野においては、前述の成層圏からのリモートセンシング事業の実証実験事業の他に、HAPS (High Altitude Platform Station: 高高度プラットフォーム基地局) の通信インフラの実証実験プロジェクトや人口衛星と地上との光通信事業のための通信空間設計のためのプロジェクトなどにも継続して参画しており、宇宙、航空科学分野に特化したAI 画像開発という強みを持って今後も本事業を推進してまいります。

以上